

効果指標一覧

あいちの教育に関するアクションプランⅡ(仮称)			区分	あいちの教育に関するアクションプラン				理由・変更点等
指標	現状値(22年度)	目標(H27)		指標	策定時の値(18年度)	21年度	目標値(22年度)	
<b>幅広い県民の参加により道徳性・社会性の向上を図ります</b>								
全国学力・学習状況調査で「道徳性」「社会性」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒の割合	本県(22年度)	全国(22年度)		全国学力・学習状況調査の結果				全国学力・学習状況調査の調査項目から外れることもあるため、いくつかの項目を合わせてひとつの効果指標とした。
「今住んでいる地域の行事に参加していますか」	小*1 65.9% 中*1 33.9%	小 61.6% 中 34.3%	小中とも全ての項目で全国平均を上回る(毎年度)	地域等の活動へ参加した児童生徒の割合	小*2 92.6% 中*2 74.0%	64.9% 37.6%	100% 100%	
「近所の人に会ったときはあいさつをしていますか」	小 88.0% 中 81.5%	小 89.9% 中 83.9%	新規					
「学校のきまり(規則)を守っていますか」	小 89.7% 中 90.8%	小 89.2% 中 90.1%	新規					
「友だちとの約束を守っていますか」	小 96.6% 中 96.8%	小 96.7% 中 96.6%	新規					
「人が困っているときは、進んで助けていますか」	小 78.9% 中 72.9%	小 79.6% 中 74.3%	新規					
「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」	小 92.0% 中 92.9%	小 92.0% 中 92.7%	新規					
いじめの解消率(小中高特)	95.5%(21年度)	100%	継続	いじめの解消率(小中)	88.7%(17年度)	95.7%(20年度)	100%	小中高特合計の数値で設定した。
不登校児童生徒の復帰率	26.4%(21年度)	50%	継続	不登校児童生徒の復帰率	24.4%(17年度)	29.6%(20年度)	50%	
			廃止	地域の清掃活動へ参加したことのある児童生徒の割合	小 27.7% 中 16.1%	—*3	50%	全国学力・学習状況調査からこの質問項目がなくなったため
			廃止	「こども110番の家」の設置数	6.4万か所	69,565か所(H22.3月)	7万か所	達成見込みのため
<b>発達段階に応じたキャリア教育を充実します</b>								
キャリア教育の年間指導計画を作成している学校の割合(小中)	—	100%	新規					キャリア教育の充実を重点目標としたため新たに設定
インターンシップを実施する学校の割合	73.2%(21年度)	100%	新規					〃
特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率	38.4%(21年度)	50%	変更	特別支援学校高等部卒業生の就職・進学率の割合	52.0%	45.0%	60%	政策指針2010-2015で設定
			廃止	5日間程度の職場体験を実施する中学校の割合	49.7%	100%	100%	達成したため
			廃止	専門高校の生徒のうち技術認定顕彰者数	4,950人(17年度)	6,065人	5,300人	達成したため
<b>学習意欲の向上を図り確かな学力を育成します</b>								
全国学力・学習状況調査で学習意欲の向上に関する項目で肯定的に答えた児童生徒の割合	本県(22年度)	全国(22年度)		全国学力・学習状況調査の結果				対象を勉強時間が1時間以上の者とした。
「学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日あたり1時間以上勉強をしている」	小 56.2% 中 70.3%	小 58.2% 中 66.2%	小中とも全ての項目で全国平均を上回る(毎年度)	放課後に学習している児童生徒の割合	小 87.7% 中 76.7%	小 94.8% 中 94.7%	100% 100%	
「学校で好きな授業がある」	小 78.9% 中 55.7%	小 80.1% 中 54.7%	新規					政策指針2010-2015で設定
高大連携を実施している高等学校数の割合	19.2%(21年度)	50%	変更	多様な科目(50を超える)を開設している県立高等学校の割合	14%	15%	25%	学校に負担が大きく現状値以上実施することが困難であるため変更
			廃止	就学していない外国人の子どもの数	—		解消(平成27年度)	理念的目標であり達成困難。今後未就学外国人児童生徒数把握に取り組む
			廃止	コンピュータ1台当たりの児童生徒数	高 9.6人/台(H17) 特 6.2人/台(H17)	高 7.4人/台(H20) 特 3.2人/台(H20)	高 6.6人/台以下(H23) 特 2.7人/台以下(H23)	県立学校情報化推進計画(24年度～)で設定する。
			廃止	コンピュータを活用して指導できる教員の割合	高 44.5%(H17) 特 55.5%(H17)	高 52.4%(H20) 特 56.2%(H20)	高 100%(H23) 特 100%(H23)	県立学校情報化推進計画(24年度～)で設定する。
<b>豊かな人生を送るための生涯学習を充実します</b>								
地域活動への参加数(NPO法人認証数)	1,370団体(H22.11)	前年度を上回る(毎年度)	新規					生涯学習の充実を重点目標としたため新たに設定
〃 (ボランティア団体数)	5,774団体(H22.4)		新規					
〃 (ボランティア個人数)	210,334人(H22.4)		新規					
生涯学習情報システムアクセス件数	442万件(21年度)	10%増(毎年度)	新規					
生涯学習活動の状況(公立図書館の1人あたり貸出冊数)	6.57冊(21年度)	前年度を上回る(毎年度)	変更	全校一斉読書活動をしている学校の割合	小 96.4%(17年度) 中 88.4%(17年度)	—*4	100% 100%	
〃 (公立図書館のレファレンス件数)	147,278件(21年度)							
総合型地域スポーツクラブを設置している市町村の数	32市町(21年度)	全市町村(H24)	継続	総合型地域スポーツクラブを設置している市町村	20市町	32市町	全市町村(24年度)	
小中学校の体力テスト合計点の平均値	本県 小5 男 53.96% 女 54.98% 小6 男 59.79% 女 61.29% 中1 男 33.46% 女 34.49% 中2 男 42.77% 女 43.00%	全国 男女とも全国平均を上回る。	新規	本県 全国 小5 女 53.98% 女 56.25% 小6 女 59.82% 女 61.37% 中1 女 43.55% 女 44.41% 中2 女 49.13% 女 49.62%				政策指針2010-2015で設定
県文化施設の利用者数及び県が推進する文化諸施策への参加者数の対県人口比率	60.6%(20年度)	80%	継続	県文化施設の利用者数及び県が推進する文化諸施策への参加者数の対県人口比率	67.2%(17年度)	60.6%(20年度)	80%	
			廃止	朝食を欠食している児童生徒の割合	小 2.9% 中 6.1% 高 8.6%	1.9%(1.2%)*5 5%(3.6%)	0% 3%以下 5%以下	食育推進計画で設定しているため
			廃止	むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合	35.5%	40.2%	50%	食育推進計画で設定しているため

\*1 全国学力・学習状況調査の小は小学校6年生、中は中学校3年生を表す。

\*2 プラン策定時の値は、平成17年度に実施された全国調査結果としたが、平成19年度からは全国学力・学習状況調査(文部科学省)結果の値を使用。

\*3 平成20年度以降、全国学力・学習状況調査(文部科学省)の調査項目から除かれたため、数値がない。

\*4 学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)の結果を用いているが、同調査が平成20年度から隔年調査となったため、平成21年度の数値はない。

\*5 21年度の( )内の数値は、栄養教諭配置校の数値。

